



JANUARY

酒田だより

「いまど救いは あらわれて
神の光は 地を照らす
喜びうたわん みめぐみを」

(カトリック聖歌集より)

2026



お知らせ

1月のミサ
1日(木)
11日 第2日曜
25日 第4日曜

☆1/1(木)

正月 ミサ 12時30分

お雑煮パーティはありません

☆1/18(日)

集会祭儀後クリスマス飾り片付け

昨年の枝の回収(1/18頃~2/15まで)

(今年の灰の水曜日は2月18日)

☆献堂60周年記念事業

アンケートの結果(「梅」案が多数)踏まえ
会長・副会長・部長と協議し素案を作成
次回の話し合いで結果を出したいと思
います。

1月スケジュール

1日(木) 神の母聖マリア
正月 ミサ 12:30

4日(日) 主の公現
集会祭儀

11日(日) 主の洗礼
ミサ
話し合い

18日(日) 年間第2主日
集会祭儀
クリスマス飾り片付け

25日(日) 年間第3主日
ミサ

ミサ・集会祭儀 時間
11:30a.m.

1月朗読当番

1日(木)	先唱	柿崎圭介	18日	祭壇奉仕	荻原徹
神の母	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	折坂志津枝
聖マリア	第2朗読	今野幸子		第2朗読	佐藤智子
4日	祭壇奉仕	荻原徹	25日	先唱	柿崎圭介
主の公現	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	今野幸子
	第2朗読	齋藤純子		第2朗読	佐藤浩子
11日	先唱	柿崎圭介			
主の洗礼	第1朗読	佐藤浩子			
	第2朗読	荻原徹			





新しい未来

皆さん世の中には運命論的なからくりがあるのではなく、ある程度の意志で、自分にとって望ましい安定した未来を開く事ができるものだと思います。

高3の生徒は後2か月、高2の生徒は後1年半ぐらいたって、大学入試と対面します。その時にそれを乗り越えなければならない関門としてとらえるか、輝かしい新しい未来の扉としてとらえるかで、大きな違いが生まれてくるのではないのでしょうか？

輝くしも未来への扉として受け止めるためには、今からそのことに目を向けるなら、未来への夢がわいてくると思います。夢があれば自ずと夢を開くための努力、学習もそんなに苦にならないものです。むしろ、心楽しい苦勞ですらあるわけです。

さあ、扉の向こうになにがあるのかのぞいてみましょう・・・・。

そして、皆さんの夢を育もう！

来年がどんな年であり、この年に皆さんや私に何が起きるか、私たちにはまったく何もわかりません。けれども私たちにはこの新しい年を皆さんのために私のためにも、神様が整えておいてくださることを知っています。

昨日は取り消された小切手でしかありません。ですから、これは現金に換えないでください。明日は約束手形です。今日だけが、そうです、今日だけが現金です。

今日、つまり一日一日、一日一日を懸命に生きようではありませんか？

(ドン・ボスコ社 ステファノ・デランジェラ

落ち葉「いい、新しい未来に・・・」

